



新聞用
完全無処理
サーマルCTP
システム

新聞用有処理
サーマルCTP
システム

FUJIFILM
SUPERIA
SUPERIA ZN-II

新聞用完全無処理サーマルCTP

2015年に国内で初めて実用化を果たした新聞用完全無処理CTPプレート『SUPERIA ZN』が、第2世代へと進化。優れた耐刷性や再現性、刷りやすさなどを継承しながら、待望の「合紙レス」を実現しました。これにより、さらなる環境負荷低減、設備コスト削減、作業性向上に貢献します。

SUPERIA ZN-IIの主な仕様

プレートタイプ	ネガタイプ
版厚み	0.30mm
合紙の有無	無
感度	108mJ~140mJ
対応光源	IR(赤外線)レーザー 波長:800~850nm
耐刷性	10万インプレッション
網点再現性	100線 1~99%
細線再現	1200dpi 1pixel

■「完全無処理化」による4大メリット

■処理に関わるコストがゼロに

露光が完了したプレートは、そのまま輪転機へ。処理に関わる機器や薬品、電気などはすべて不要。SUPERIAが目指す「5つの省資源」を同時に実現することで、確かなコストメリットが得られます。

■大幅な省スペース化が実現

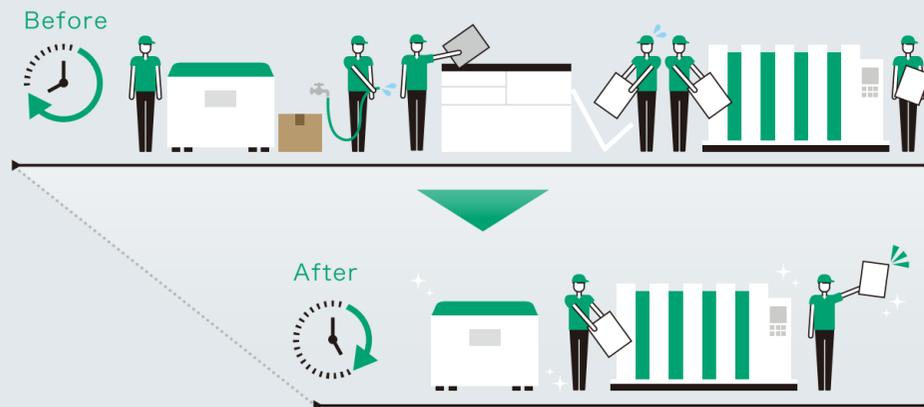
完全無処理プレートでは、自動現像機やガム洗浄機などの処理機器が不要になるため、従来の有処理CTPシステムに比べて大幅な省スペース化が実現。フロアの有効活用が可能になります。

■工数削減により作業時間が短縮

「現像液の液管理」「自動現像機のタンク・ローラー・側板の洗浄」「予備の薬品・ローラーの在庫管理」などから解放されるため、作業時間の大幅な短縮が見込め、作業性も格段に向上します。

■廃液レスで環境負荷低減に貢献

処理に使われていた現像液・ガムの廃液だけでなく、自動現像機の洗浄廃液もゼロになる完全な廃液レスにより、環境負荷低減に大きく貢献します。



※仕様および外觀は、改良のため予告なく変更することがあります。 ■社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

FUJIFILM

●本製品についてのお問い合わせは
富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社
〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル
TEL: 03(6419)0300
ホームページ <https://www.fujifilm.com/figs/ja>

FUJIFILM
SUPERIA

完全無処理 THERMAL CTP SYSTEM
For NEWSPAPER
SUPERIA ZN-II

FUJIFILM SUPERIA

富士フィルムが考える「省資源」とは、単なる環境貢献にとどまるものではありません。

環境負荷削減と同時に、品質安定化、生産性向上、コスト削減を図り、

最終的には、企業全体の利益向上につなげていくものです。

そのために、富士フィルムが持つ

多彩な製品群・品質管理技術・サポート技術などを総合的に投入し、

材料・工数・エネルギー・排出・水という5つの観点から、

体系的に、徹底的にムダをなくしていく。

それが、新発想の省資源ソリューション

『FUJIFILM SUPERIA』です。



新聞用
完全無処理
サーマルCTP
システム

アルカリ現像やガム処理などの処理工程が一切不要という真正銘の「完全無処理」を実現。現像工程がなくなることで、それに関わる資材もエネルギーも不要になり、機器メンテナンスの工数も削減され、現像廃液や水の使用量もゼロに。富士フィルムが掲げる「5つの省資源」すべてに大きく寄与する、いわば「新聞用CTPの究極形」です。

現像液も廃液も水もゼロ

プロセッサ駆動の
電気も不要

究極的な省スペース



FUJIFILM SUPERIA SUPERIA ZN-II 新聞用完全無処理サーマルCTP

SUPERIA ZN-IIが発揮する7つの性能

「完全無処理化」によるスペース効率・工数・環境面のメリットだけでなく、新聞用CTPプレートとしての使いやすさ・信頼性も徹底追求。富士フィルム独自の技術により、品質、生産性、取り扱い性などをすべて高いレベルで実現しています。



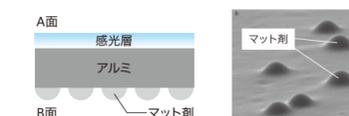
SUPERIA ZN-IIの7大性能を支える独自技術



1 MBW技術 (裏面マットコーティング技術)

Mattness Backside Wrapping Technology

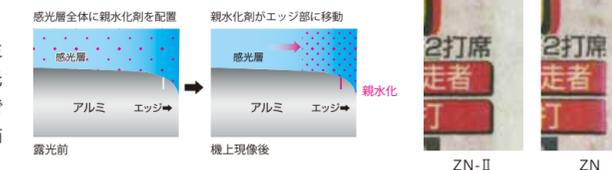
プレート裏面のバックコート層に、微小なマット剤をランダムに敷設することにより、プレート輸送・積み替え時のキズ発生や、セッター給版時の多重給版を防止。ZNで要望の高かった「合紙レス化」を実現しました。さらに、このマット剤により、輪転機での版ズレも軽減されます。



2 DDS技術 (ドラッグデリバリーシステム技術)

Drag Delivery System Technology

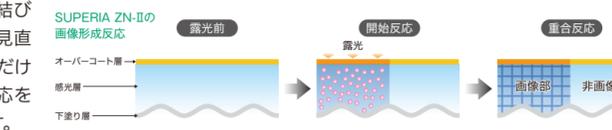
従来のZNでは、エッジ汚れ防止のため、エッジ部の親水化処理を行っていましたが、これにより、エッジから3mmの範囲で描画できない領域が生じていました。そこで、ZN-IIでは、親水化剤を感光層内部に含ませ、机上現像の過程でエッジ部まで浸透させる新技术を開発。エッジ汚れの防止と描画領域の最大化を同時に実現しました。



3 HDN技術 (超高次元ネットワーキング技術)

Hyper Dimension Networking Technology

CTPへの照射光エネルギーを効率よく重合反応に結び付けるために、感光層に使われている材料を一から見直し、画像形成のためのネットワーク化に必要な成分だけに最適化。ZNから継承された技術により、重合反応を高速化させ、ZN同等の高い耐刷性を実現しています。



4 MGZ技術 (マルチグレインZ技術)

Multi Grain Z Technology

重合反応の高速化に合わせて、有処理プレート『HN-NV』で定評ある「MGV」のマルチグレイン砂目を、無処理プレート用に最適化。ZNから継承されたこの技術は、表層側のマイクロポア径だけを高精度に拡大する「多段構造化」により、高速に固まった感光層の強度を安定的に保持することで、耐刷性と耐汚れ性の向上に寄与します。

